

支援好事例5



地 域	沼津市就労準備支援センター		
性別・年齢	男性	49歳	
受給期間	5年	支援期間	平成30年6月～平成30年12月
特徴・課題	・ 1人暮らし。 ・ 傷病により失職し、求職活動するも就労先なく、他法収入もなく生活費・及び医療費に困窮する。 ・ 糖尿病・高血圧があり3ヶ月に1度通院。 ・ 体を動かすことは好き、人柄も穏やか。		
支援メニュー	・ 沼津市就労準備支援センターに定期的に通所し、字の練習をしたり、積極的にハローワークへ通い就職活動を行う。 ・ 履歴書の添削や模擬面接を実施し、応募の準備を行う。 ・ 通勤可能な範囲での企業への応募。		
支 援 概 要	・ 履歴書の添削を行い、面接に慣れるため、模擬面接も時間をかけて行った。(8～9月) ・ 就労に向けての準備が整った段階で、食品工場の職場見学を行い、就労体験もした。その後午前中だけのパート勤務を行っている。 ・ 自分でどんどん就職活動ができた。面接の後に「どんな質問をされ、どんな答えをしたのか」確認・フォロー。 ・ 就労が継続できている為、支援完了となる予定。		
ポ イ ン ト	・ 初回面談時に、本人の希望をいつまでに実現するかなど、目標を具体的にすることができた。 ・ 進んで就職活動をすることで本人のやる気が向上した。		

支援好事例6



地 域	沼津市就労準備支援センター		
性別・年齢	女性	50歳	
受給期間	8カ月	支援期間	平成30年9月～平成30年12月
特徴・課題	・結婚前は家業を手伝っていて外で働いたことがない。 ・離婚をきっかけに保護を受けることになる。 ・中学生の子どもがいるシングルマザー ・明るく前向き、子どもに働いて頑張る姿を見せたい。		
支援メニュー	・リボーンに定期的に通所、セミナー・イベント等に参加し、他の利用者と交流することで、コミュニケーション能力の向上を図る。 ・履歴書の添削や模擬面接を実施し、求人応募の準備を行う。		
支 援 概 要	・履歴書の添削と作成のお手伝い。（9月） ・どんな仕事がしたいのかできるのか、一緒に考える。（9月） ・すぐに仕事が決まるが人間関係を理由に1か月で離職するも自分は外に出て働けるという自信が持てた。（10月） ・陶芸教室に参加し他の利用者とのコミュニケーションをもつ。（11月） ・ヘルパーの資格を持っていたが他の仕事を探していたところ、就労準備支援事業を利用し介護施設での職場見学・就労体験により介護職につく事を決め、ハローワークでヘルパーの仕事を探し応募。 12月からのパート勤務が決まった。（11月）		
ポ イ ン ト	・抱えている問題を具体的にすることができた。 ・外で仕事をした経験がなく不安を感じていたが、短期間ではあったが、一度働き、自信を持てたことが大きい。 ・ヘルパーの資格を持っていた。		

支援好事例7



地 域	沼津市就労準備支援センター		
性別・年齢	男性	56歳	
受給期間	生活困窮	支援期間	平成30年 6月～平成30年8月
特徴・課題	・失職しこのままでは家賃が滞ってしまうと自立支援センターに来所。 ・1人暮らし。 ・助けてくれる友達がいる。 ・明るい・前向き・思ったことを口に出さずにいられない。 ・膝の手術をしており無理は出来ない。		
支援メニュー	・就労に関する知識の習得。（社会人基礎マナーの習得、履歴書添削、ハローワークでのパソコン検索や職業訓練の情報収集、模擬面接） ・話し方のマナー・興奮した時の気持ちの静め方。 ・自分のやりたい仕事・出来ることが明確になっていない為、時間をかけて聴き取り。		
支 援 概 要	・履歴書の添削を行い、貼付用の写真も撮影。（7月） ・模擬面接・面接の受け方・言葉づかい・礼の仕方など時間をかけて行った。（7月～8月） ・興奮すると話がまとまらず、止まらなくなるので、再三に渡り注意を促し落ち着いて話すことを注意するようアドバイス。 ・就労の準備が整った段階で自立支援センターに戻す。 ・自立支援センターより紹介され工場に勤務が決まり就労。		
ポ イ ン ト	・頑固な一面もあったが、時間をかけて支援員と話すうちに、納得し自らを反省することで、素直に向き合うことができた。 ・就労意欲があり、1度決まれば継続する事を常に明言し、有言実行し継続就労出来るようになった。		